本校の教育

学校教育目標

【目指す子ども像】	【目指す学校像】
○　心豊かに伝え合う子（徳育・言語） ○　たくましい子（体育） ○　進んで学ぶ子（知育）	○　子どもが通いたくなる学校 ○　保護者が通わせたくなる学校 ○　地域の方々が寄りたくなる学校

【教育方針】

1　豊かな人格形成
(1) 全人的な発達を促す教育課程の編成・実施 ・評価・改善
(2) 心豊かに伝え合う子どもの育成
(3) 子どもの良さを伸ばす指導

2　言語指導の充実
(1) 子どもの発達段階にあった言語指導
(2)「生活言語」と「学習言語」の指導
(3) 発達段階に応じた「書き言葉」の指導

3　確かな学力の育成
(1) 学ぶ意欲の高揚と学習習慣の定着
(2) 学びを深めるための思考力、判断力、表現力の育成
(3) 各教科等の基礎・基本の確実な習得
(4) 子ども一人一人が「分かる授業」の構築
(5) ICTの効果的な活用とプログラミング的思考の育成
(6) 読書指導の充実と掲示教育の工夫

4　他の障がいを併せ有する子どもへの指導の充実
(1) 重複障がい学級の教育課程の改善と充実
(2) 実態にあわせた学習グループの編制
(3) 発達障がい児への対応の充実

5　社会性の育成
(1) 自己理解力、他者との協調、生命や人権を尊重する心、感動する心の育成
(2) 社会で生きるための力の育成
(3) 適切な進路選択を行う能力や態度の育成

6　健康と安全の推進
(1) たくましい心と体をつくる指導の充実
(2) 保健指導や食育に関する指導の充実
(3) 自ら安全に行動できるための指導の充実

【経営方針】

1　教育課程の適切な整備
(1) 幼稚部教育要領、小・中学部学習指導要領への適切な対応
(2) キャリア教育の視点を生かした幼小中の一貫した指導

2　聴覚障がい教育の専門性と授業力の向上
(1) 子どもたちの聴覚障害の状態等に応じた音声、手話、文字、指文字等を適切に活用した意思の相互伝達の充実
(2) 各種研究会等への参加を通した聴覚障がい教育の専門性及び授業力の向上

3　協働体制による業務の推進
(1) 報告・連絡・相談の徹底と、組織的、計画的な業務の推進
(2)「北海道アクションプラン」の趣旨を踏まえた働き方改革の推進

4　家庭、地域、関係機関との連携
(1) 個別の教育支援計画の活用
(2) 学校教育目標に基づく教育内容の丁寧な説明
(3) やすらぎと潤いのある寄宿舎経営
(4) 卒業生や地域資源の活用

5　危機管理や安全指導に係る体制の充実
(1) 生命や人権を尊重する指導体制の確立
(2) 災害や事故等に迅速・的確に対応できる学校体制の確立
(3) 学校教育予算の適正かつ効率的な執行
(4) 適切な文書・電子データの管理と施設・設備・備品の管理の徹底

6　聴覚障がい教育のセンター的役割の推進
(1)「聴覚障害乳幼児療育事業」の積極的な推進
(2) 保育所・幼稚園、小・中学校、高校等への支援
(3) 保健・医療機関等との連携強化
(4) 教育活動の積極的な情報発信

本年度の重点

【教育の重点】

1　見通しをもたせ、視覚教材を有効に活用した「分かる授業」の構築
2　言語力、読解力の指導の充実
3　重複障がいの子どもへの指導の充実
4　地域資源を活用した体験学習と外部人材を活用した教育活動の推進

【経営の重点】

1　新型コロナウィルス感染症への対応に係る危機管理、安全指導、学習保障の推進
2　教育課程の修正（学習内容、学校行事等の見直し）
3　適切な規模の学習集団を確保するとともに、学部の横断による教科の専門性、日本手話及び日本手話をベースとした手話の専門性の確保
4　時間外勤務の縮減（働き方改革）

学校研究課題

「生きる力」を育てるための指導法の研究
～多様化に応じた「主体的・対話的な授業」づくりと
聴覚障がい教育における「専門性の継承」